

三島工場 (SP) CSRLレポート

事業内容: 乗用車用タイヤ、レーシング用タイヤ、ライト・トラック用タイヤの製造
敷地面積: 112,000m²
従業員数: 916名 (2015年4月1日)
所在地: 〒411-0832 静岡県三島市南二日町8番1号
相談・苦情などの受付窓口:
 三島工場業務課 TEL: 055-975-0800 FAX: 055-976-4322



工場長ご挨拶



富岡 聖

三島工場は、静岡県東部の伊豆半島の付け根三島市に位置し、水と緑にあふれた地域にあります。乗用車用タイヤ、ライト・トラック用タイヤを主として生産し、モータースポーツ向けのレーシング用タイヤの製造も行っております。CSR活動は企業活動の根底になる部分であり、当事業所においても2007年から千年の杜づくり、植樹活動を行い、CO₂削減を目指しています。また工場西側には一級河川の御殿川が隣接しており、一年を通じて河川の生物多様

性調査を実施しています。

工場方針では、主要な課題を「安全・防災」「環境」「品質」「納期・流れ」「コスト」「人」として工場運営に当たっています。2014年是对話の大切さを鑑み、従業員と工場長の1対1対話を行いました。今後もすべてのステークホルダーとの信頼関係を構築できるよう取り組んでまいります。

組織統治

三島工場方針

生産事業所として、活動の基本はトヨタ生産方式を基軸としたTPS活動であることから前年の基本方針を継続し「TPS活動推進し コストと仕掛りを継続的に改善し、商品を提供する」ことを念頭に活動を展開しました。また、行動指針として「現場の事実を大切に」をスローガンに、事実に基づく対応策に心掛けて工場運営を行っています。

汚職に関する方針

全従業員に対してコンプライアンス教育を実施し、コンプライアンス方針の理解と徹底を図りました。

人権

人権教育

全従業員に対して「コンプライアンス・カード」の配布による啓発と教育を実施しました。

採用活動においても、性別・年齢・障がいの有無で差別をせず雇用をしています。

女性従業員数39名、高齢者(60才以上)は46名、障がい者6名です。

労働慣行

労働安全衛生

従業員、協力社員の安全と健康の確保が企業活動の基盤であるとの認識の下に、安全、健康で快適な職場を実現するための手段として、OSHMS(労働安全衛生マネジメントシステム)の認証を2010年11月に取得しました。全員参加のもとで3S活動を基本とし、リスクアセスメント活動によるリスクの洗い出しから対策や改善によるリスクの軽減を図り、安全衛生活動を推進しています。

従業員の多様性

2014年 育児休業取得者は3名、出産育児休業取得者は12名です。三島市の提唱する「家族団らんの日」を毎月2回設定し、定時退社によるワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを継続しています。

環境マネジメント

ISO14001環境マネジメントシステムを用い、経営方針に示した「社会に対する公平さと環境との調和を大切にする。」を規範とし、環境方針を宣言しています。環境に与える負荷を低減するために、産業廃棄物の削減、温室効果ガス排出量の削減を主要な課題とし、生産工程の改善やエネルギーの無駄をなくす活動に取り組んでいます。その他の取り組みとしては、法規制対応では自主管理値を設け、自主管理値内での運用を行っています。騒音、振動、臭気など感覚公害に該当する取り組みでは、工場周辺にお住まいの住民の中から環境モニターとしてご協力をいただき、年3回の訪問時に状況報告ならびにヒヤリングを行い、改善につなげてきました。

地域への環境貢献の取り組みの中では、週1度の工場周辺の清掃作業（工場正門～三島二日町駅周辺と工場正門～従業員駐車場周辺）を実施しています。三島地区環境保全推進協議会が主催する三島市立公園「楽寿園」の清掃や花の植生に継続的に参加させていただいています。



楽寿園

また、全社活動でもある「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトでは、工場内での植樹会のほかに、2014年2月に開通しました「東駿河湾縦貫道」の式典では記念・東駿河湾自動車道開通記念植樹や工場周辺の自治会開催の納涼祭などへ苗木を2014年度は合計271本寄贈しました。



千年の杜 工場内植樹会



東駿河湾自動車道開通記念での植樹活動

生物多様性保全活動の取り組みとしては、近隣河川である御殿川において、上流、中流、下流としたチーム活動を取り入れて生物多様性調査を実施、さらに近隣企業である森永製菓三島工場様と協業で河川清掃を実施し、今後の生物多様性保全活動に生かすべく進めています。

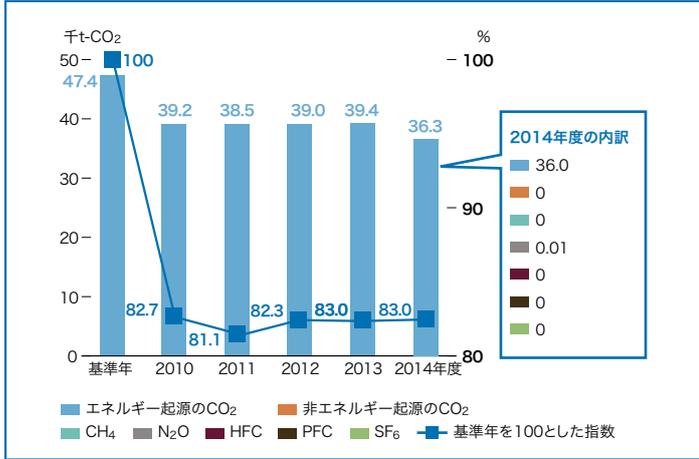


生物多様性

環境データ

■温室効果ガス排出量の削減

・温室効果ガス排出量



※基準年: 1990年を原則としていますが、京都議定書に準じてHFC、PFC、SF₆は1995年としています。
 ※温室効果ガス (GHG) の算定方法: 環境省・経済産業省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に準拠しています。
 なお、2009年度の電力購入からのGHG算定は、環境大臣公表の契約電力会社別実排出係数を使用しています。
 ※2011年度は決算期が4-12月となりましたので、2011年1-3月データを重複させて1-12月で集計しています。

■資源の有効活用/廃棄物の削減

・廃棄物データ



・水使用量

工場用水として地下水を工場の使用量の9割を使用しています。残りは上水道です。



■水・大気・土壌への排出対策

・水質汚濁にかかわるデータ

工場で使用した工場用水は、工場内の処理施設で処理後、御殿川に放水しています。

| 項目 | 規制値 | 自主管理値 | 2014年度実績 | | |
|--------------|----------|---------|----------|-----|-----|
| | | | 平均値 | 最大値 | 最小値 |
| PH | ※5.8~8.6 | 6.2~8.2 | 7.5 | 7.9 | 6.7 |
| BOD濃度 (mg/l) | 15 | 4以下 | 1.42 | 3.2 | 0.5 |
| COD濃度 (mg/l) | ★120 | 5以下 | 1.6 | 3.6 | 1.0 |
| SS濃度 (mg/l) | 20 | 8以下 | 1.08 | 2.0 | 1.0 |
| 油分濃度 (mg/l) | 2 | 1以下 | 1.0 | 1.0 | 1.0 |

※三島市環境保全協定、★は水質汚濁防止法に準拠 (BOD規制値は最大濃度)
 ※排水先 御殿川

・大気汚染物質 (NO_x、SO_x)

| 項目 | NO _x | SO _x |
|-----------|-----------------|-----------------|
| 排出量 (t/年) | 15 | — |

| 施設名称 | 項目 | 規制値 | 自主管理値 | 2014年度実績 | | |
|--------------------|-----------------------------|------|-------|----------|-------|-------|
| | | | | 平均値 | 最大値 | 最小値 |
| 三島工場 コージェネレーション | 窒素酸化物濃度 (ppm) | 70 | 23 | 13.3 | 12 | 15 |
| | ばいじん濃度 (g/m ³ N) | 0.05 | 0.001 | 0.001 | 0.001 | 0.001 |
| 三島工場 ボイラー | 窒素酸化物濃度 (ppm) | 130 | 59 | 37.0 | 41 | 33 |
| | ばいじん濃度 (g/m ³ N) | 0.1 | 0.002 | 0.001 | 0.001 | 0.001 |

※大気汚染防止法、三島市指導値に準拠

取引先とのかわり

取引先に対してCSR勉強会を開催しました。

日時: 2014年9月29日13:30~15:30

場所: 三島工場第一会議室

講師: 資材調達部 西課長、コンプライアンス推進室 海老沼氏

参加者: 取引先28社32名

内容: CSR調達について、当社のコンプライアンス事例紹介

消費者とのコミュニケーション

工場見学をしていただいたお客さまに、自動車産業品質マネジメントシステム規格 ISO/TS16949認証の取得をご紹介します。

また、製品納入先のお客さまからの問合せには、迅速に調査しご報告を行っています。

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

これまで寄せられた主な意見や苦情と対応内容

2014年度は、4月と12月に工場近隣にお住まいの方と環境モニターさまをお招きし工場見学会を開催し、工場の安全、防災、環境への取り組みについてご説明を実施しました。

5月2日には三島市へ、環境にやさしい市長公用車（電気自動車）に環境貢献商品となるBluEarth4本を寄贈しました。



地域懇談会



地域社会とのかかわり

- ・三島地区環境保全推進協議会主催の清掃奉仕作業へ、2014年度は年2回実施し、延べ101名が参加しました。
- ・2014年度の事業所内にある体育館と独身寮グラウンドの貸し出し実績は合わせて908件あり、地域の皆さまにご利用いただきました。
- ・献血協力は年2回事業所内で実施しており、2014年度は89名が献血しました。
- ・2月16日 伊豆マラソンに、駐車場の貸出ならびに給水ボランティアや交通整理などに13名、協力しました。
- ・消防団協力事業所として、機能別団員8名を三島市消防団に登録し、地域での災害時に、2014年度は5回出動しました。
- ・8月5日 三島市の国際交流を目的として設立された国際交流協会へ協力するため、三島市姉妹都市の米国バサティナ市と友好都市の中国麗水市の学生を中心に、総勢42名の工場見学を受け入れました。

- ・8月12日にイベントとして「サマーフェスティバルin三島」を工場の体育館で開催。従業員家族ならびに地域住民668名が来場し、地元子どもによるしゃぎりの披露、地元歌手達によるコンサートを行いました。



サマーフェス

- ・9月、三島市内の中学校2年生130名を対象に開催された普通救命講習に、応急手当指導員の資格を持つ従業員を指導員として派遣、受講生に心肺蘇生とAEDのやり方を指導しました。

工場見学・説明会のご案内

2014年度は工場見学の受け入れ59件、延べ989名が三島工場へ来訪されました。地域の教育支援として、小学生の工場見学、中学生の職場体験学習、高校生、大学生のインターンシップなども受け入れました。

工場見学について

- 開催日 工場就業日 月曜日から金曜日まで
(年末年始、5月連休、8月連休を除く)
- 受付時間 8:00~16:00
- 問合せ先 三島工場業務課 TEL: 055-975-0800